

Cisco Prime Infrastructure (仮想マシンのみ) のパスワード回復

目次

[概要](#)

[ステップバイステップ手順](#)

[関連情報](#)

概要

この資料に (すなわち、リセット) 管理者 パスワード Prime Infrastructure サーバを on Cisco 回復方法を記述されています。それは Cisco Prime Infrastructure バージョン 1.2 および それ以降に適用します。ここに与えられる手順は顧客提供ハードウェアだけで仮想マシン (OVA) としてインストールされるサーバのためです。 [アプライアンスにおける別途の手順があります](#)。

手順

この手順は OVA のパスワードが顧客ハードウェアでインストールした Cisco Prime Infrastructure サーバ管理者をリセットする方法を説明します。管理者パスワードを変更することができる前にソフトウェアのバージョンのために適切なインストール ISO イメージのコピーを持たなければならないこのイメージは VMware サーバから起動可能である必要がありますことに注目すれば。これらのステップはこの要件を満たすために簡単な手順を組み込みます。

1. 管理者パスワードを回復ように試みる前に使用する Cisco Prime Infrastructure のバージョンのために適切なインストール ISO イメージのコピーを持たなければなりません。Cisco Prime Infrastructure ISO イメージ ファイルに形式 PI _{vAversion}.iso versionis 製品のバージョン番号ある。次に、例を示します。Cisco Prime Infrastructure バージョン 3.1 の最新バージョンを使用する場合、ISO イメージ ファイル PI-VA-3.1.0.0.132.ova のコピーがあるはずですが。ISO イメージのコピーを持たない場合、次の通り Cisco.com からそれをダウンロードできます: <https://software.cisco.com/download/navigator.html> にブラウザをポイントして下さい。Cisco Prime Infrastructure を探すのに検索ボックスを使用して下さい。結果リストから、使用するソフトウェア バージョンを選択して下さい (たとえば、Cisco Prime Infrastructure 3.1)。ISO のリストおよびそのソフトウェア バージョンのための他のダウンロード可能イメージ ファイルを表示するために Prime Infrastructure ソフトウェアを選択して下さい。ページから ISO イメージをダウンロードして下さい。
2. ISO イメージのコピーがあったら、仮想マシンのデータストアにそれを次の通りアップロードして下さい。vSphere コンポーネント、データストア、またはオブジェクト機能にアクセスできなかつたら、VMware 管理者に相談して下さい。また vSphere クライアントから ESX に直接アクセスする必要はありません。vSphere コンポーネントで、データストアをクリックして下さい。オブジェクトでファイルをアップロードするデータストアを記録して下さい、選択して下さい。データストア ファイル ブラウザ アイコンにナビゲートをクリックして下さい。もし必要なら、作成を新しいフォルダ アイコン クリックし、新しいフォルダを作成して下さい。既存のフォルダを選択して下さい、アップロードを File アイコン作成しか、または選択しフォルダをクリックして下さい。クライアント統合アクセス制御

ダイアログボックスが現われる場合、プラグインがオペレーティング システムにアクセスし、ファイル アップロードを続行するように割り当てをクリックして下さい。ローカル コンピュータで、ファイルを見つけ、アップロードして下さい。リストのアップロードされたファイルを見るためにデータストア ファイル ブラウザをリフレッシュして下さい。

3. データストアにアップロードされて ISO イメージがそれにデフォルト ブートイメージを次の通り作って下さい: VMware vSphere クライアントで、展開された OVUM を右クリックし、**電源**を > シャットダウンされたゲスト選択して下さい。 > **ハードウェア** 『Edit Settings』を選択し、そして **CD/DVD ドライブ 1**を選択して下さい。デバイスの種類の下で、**データストア ISO ファイル**を選択し、そしてデータストアにアップロードした ISO イメージ ファイルを選択するために **Browse ボタン**を使用して下さい。装置状態の下で、**電源**で 『Connect』を選択して下さい。 **Options タブ**をクリックし、**ブート オプション**を選択して下さい。カ BIOS 設定の下で、**時間 VM を起動します BIOS セットアップ**スクリーンに、**Force エントリ** 『Next』を選択して下さい。これは仮想マシンを再起動するとき仮想マシン BIOS からのブートを強制します。 [OK] をクリックします。 VMware vSphere クライアントでは、展開された OVUM を右クリックし、**電源 > 電源**を選択して下さい。 BIOS Setup メニューでは、上にデバイスおよび移動 **DVD/CDROM** のブート順序を制御するオプションを見つけて下さい。
4. Cisco Prime Infrastructure サーバ 管理パスワードを休息させるために次の手順に従って下さい: BIOS 設定を保存し、BIOS Setup メニューを終了して下さい。 仮想マシンは ISO イメージから起動し、ブート オプションのリストを表示します。 コンソールでアクセスする場合 キーボードを使用し、OVUM にアクセスするために監視したらまたは 4 つを入力して下さい 3 つ。 vSphere クライアントは管理者ユーザ ユーザー名のリストを表示します。 パスワードを回復たいと思う admin ユーザ名の隣で示されている数を入力して下さい。 新しいパスワードを入力し、2 回目の入力でそれを確認します。 変更およびリブートを保存するために **Y**を入力して下さい。 VM がリブートしたら: vSphere クライアントで、**CD アイコン**をクリックし、**ISO イメージ**を 『Disconnect』を選択して下さい。 新しい管理者パスワードでログインに試みて下さい。 ログインに正常にできるはずです。

関連情報

- [Cisco Prime Infrastructure のサポート](#)
- [テクニカル サポートとドキュメント – Cisco Systems](#)